

へんけいせいこかんせつしょう

変形性股関節症の患者さんは 全国で400万～500万人

中高年の女性は

他人事ではない！



変形性股関節症は
進行性の病気だから、
放置しつづけると寝たきりに！

「立ちあがるときに股関節が痛い」
「少し長く歩くと足がだるくなる」
「座っているときや寝ているとき
にも股関節に痛みが生じる」
いずれも変形性股関節症の典型的な症状です。

変形性股関節症に悩む中高年の女性は少なくありません。全国で400万～500万人にものぼるといわれます。進行性の病気で、痛みを我慢して放置していると病状は確実に進んでしまいます。医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

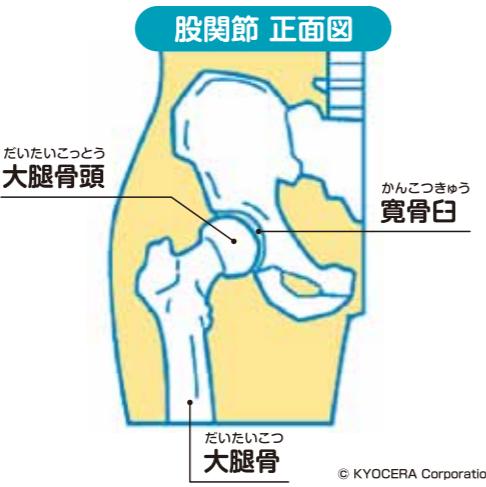
片足で立つと体重の
3～4倍もの大きな荷重が
股関節にかかることも…

股関節は骨盤の左右に存在し、胴体と左右の足をそれぞれつなぐ、人体の中でもっとも大きな関節です。重い体重を支えながら、身体を大きく曲げたり、足を前後左右に広げた

股関節の痛みから思うように歩けなくなったり、自宅の中でも座つたり立つたりできなくなり、ついには

寝たきりとなってしまってケーズもあります。歳を重ねても快適な生活を送るため、股関節の痛みなどを決して他人事と思つてはいけません。きちんと医師の診察を受け、適切な治療を受けることが大切です。

お勧めの治療は仰臥位前方進入法による 人工股関節置換術！



股関節 正面図

大腿骨頭
寛骨臼

© KYOCERA Corporation

り、外側や内側に足をひねったり、さまざま動きが可能です。

両足で立つてているだけならば、片方の股関節にかかる荷重は体重の30～40%です。しかし、片足で立つて上体を傾けたりすると、体重の3～4倍もの大きな荷重が片方の股関節にかかることがあります。

股関節は太ももの骨＝大腿骨の先端のボルル状の大股骨頭を、骨盤側のお椀状の受け皿＝寛骨臼が包むよ

**変形性股関節症の患者は
遺伝的に発病しやすいから…**

日本人の場合、変形性股関節症の患者は、女性が男性の5倍以上になります。

遺伝的に大股骨頭を覆う寛骨臼の

4つの進行病期に
分けられる変形性股関節症

変形性股関節症は股関節の変形の

程度により、①前股関節症と②初期股関節症、③進行期股関節症、④末期股関節症の4つの進行病期に分けられます。

前股関節症とはまだ関節軟骨のす

り減りも認められず、寛骨臼と大腿骨頭の間の隙間も正常に保たれており、ほとんど痛みも覚えない段階です。

初期股関節症は関節軟骨が少しすり減り、寛骨臼と大腿骨頭の間の隙間も部分的に狭くなっている状態で

变形股関節症の治療は、股関節へ

躊躇することなく休憩を！

日常生活は洋式のスタイルに！

股関節に痛みを覚えたたら
の負担を減らす日常生活上の工夫を！

变形股関節症の治療は、股関節へ

の負担を減らす日常生活上の工夫を！

